



きたみ
喜多見にあった当主屋は、敷地の東側
のぼりとみち
を旧登戸道、北側を旧品川道が交わる
場所に建っていました。江戸時代の城田
家は「さかや」という屋号で二代目の
頃に酒屋も営んでいたといわれている
農家でした。

建築年代は不明ですが、^{こうか}弘化3(1846)
年以前に建築されたと考えられています。

間取りは食違^{よま}い四間取りですが、
土間部分まで張り出したダイドコロ
や、ヒロマの天井を高くした広い空間、
主屋の東妻側^{ひがしつま}の船桧造り^{せかい}、土間の上部
に設けられた厨子二階^{ずし}(中2階)など
に店造りの特徴がみられます。



屋内のようす



ドマのようす

きゆうしろたけじゆうたくおもや
旧城田家住宅主屋
世田谷区指定有形文化財